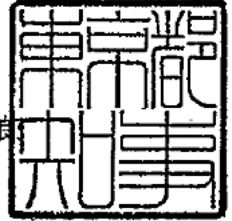




22水総施第85号
平成22年10月25日

国土交通省関東地方整備局長 様

東京都知事 石原 慎太郎



八ッ場ダム建設事業への利水参画継続の意思の確認等について (回答)

平成22年10月12日付国関整河計第49号により照会のあった標記の件
について、別紙のとおり回答します。



問い合わせ先

部 署：東京都水道局総務部施設計画課

担 当：■■■■■

連絡先：03-5320-6342

ハッ場ダム建設事業への利水参画継続の意思の確認について

事業主体名	東京都
参画継続の意思	<input checked="" type="radio"/> 有・無
参画継続の意思がある場合の必要な開発量	通年 5.220 m ³ /s 非灌漑期 0.559 m ³ /s

利根川水系及び荒川水系における
水資源開発基本計画需給想定調査調査票（都市用水）

東京都（利根川水系及び荒川水系）

平成19年10月

東 京 都
都 市 整 備 局

水道用水 1-1 需要想定値 (エリア合計)

東京都 (利根川水系及び荒川水系) 調査地域 (水資源開発基本計画需要想定エリア内合計)

【上水道】	項目	単位	需要想定値																											
			S65年度	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	備考	
①	行政区域内人口	千人	11,571	11,572	11,699	11,654	11,715	11,782	11,849	11,859	11,865	11,833	11,811	11,834	11,824	11,800	11,748	11,730	11,746	11,796	11,851	11,911	12,026	12,134	12,242	12,332	12,418	12,566		
②	上水道普及率	%	99.2	99.2	99.3	99.6	99.6	99.7	99.8	99.9	99.9	99.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
③	①×② 上水道給水人口	千人	11,473	11,450	11,510	11,509	11,571	11,742	11,820	11,842	11,839	11,822	11,806	11,830	11,821	11,796	11,745	11,727	11,743	11,792	11,849	11,909	12,026	12,133	12,241	12,332	12,416	12,565		
④	家庭用水収水基準単位	L/人・日	199.0	205.0	207.0	210.0	215.0	215.0	219.0	220.0	225.0	230.0	236.0	241.0	245.0	247.0	248.0	247.0	248.0	248.0	248.0	248.0	248.0	248.0	248.0	248.0	248.0	248.0	248.0	
⑤	④×③ 家庭用水収水水量	千L/日	2,281.0	2,385.0	2,386.0	2,439.0	2,509.0	2,535.0	2,597.0	2,596.0	2,675.0	2,751.0	2,805.0	2,847.0	2,907.0	2,910.0	2,916.0	2,895.0	2,910.0	2,929.0	2,946.0	2,958.0	2,979.0	2,984.0	2,995.0	2,987.0	3,027.0	3,046.0		
⑥	都市活動用水収水基準	千L/日	1,256.0	1,270.0	1,248.0	1,254.0	1,258.0	1,275.0	1,274.0	1,256.0	1,289.0	1,346.0	1,371.0	1,374.0	1,372.0	1,329.0	1,314.0	1,288.0	1,256.0	1,250.0	1,227.0	1,218.0	1,211.0	1,191.0	1,176.0	1,176.0	1,157.0	1,157.0		
⑦	工業用水収水基準	千L/日	143.0	135.0	129.0	125.0	119.0	118.0	115.0	115.0	116.0	114.0	114.0	114.0	112.0	112.0	109.0	104.0	100.0	95.0	90.0	85.0	80.0	78.0	71.0	66.0	57.0	69.0		
⑧	⑤+⑥+⑦ 一日平均収水水量	千L/日	3,680.0	3,760.0	3,765.0	3,822.0	3,922.0	3,933.0	3,979.0	3,967.0	4,079.0	4,212.0	4,294.0	4,335.0	4,392.0	4,351.0	4,242.0	4,283.0	4,270.0	4,279.0	4,268.0	4,256.0	4,276.0	4,253.0	4,243.0	4,210.0	4,259.0	4,602.0		
⑨	有収率	%	76.2	76.5	76.8	77.2	79.5	80.6	82.0	83.1	83.9	84.5	85.4	86.0	86.4	87.0	87.6	87.7	88.5	89.2	89.8	90.1	90.5	91.3	92.5	93.5	94.0			
⑩	⑧/⑨ 一日平均給水水量	千L/日	4,825.0	4,915.0	4,905.0	4,962.0	4,931.0	4,992.0	4,853.0	4,797.0	4,860.0	4,977.0	5,028.0	5,041.0	5,082.0	5,022.0	4,955.0	4,893.0	4,824.0	4,799.0	4,755.0	4,737.0	4,722.0	4,660.0	4,582.0	4,499.0	4,547.0	4,896.0		
⑪	⑩/③ 一人一日平均給水水量	L/人・日	421.0	428.0	426.0	427.0	423.0	416.0	411.0	408.0	410.0	421.0	425.0	425.0	430.0	424.0	422.0	417.0	411.0	407.0	401.0	397.0	393.0	384.0	374.0	365.0	356.0	356.0		
⑫	負荷率	%	85.0	80.3	83.7	85.1	82.9	82.8	80.7	84.8	87.1	87.8	82.0	84.5	82.4	84.5	84.1	84.9	83.7	85.8	86.5	86.5	86.5	86.9	86.5	86.3	88.9	87.1	81.0	
⑬	⑫/⑩ 一日最大給水水量	千L/日	6,615.0	6,119.0	5,961.0	5,965.0	5,950.0	5,898.0	5,011.0	5,657.0	5,581.0	5,868.0	6,133.0	5,960.0	5,170.0	5,913.0	5,893.0	5,761.0	5,767.0	5,695.0	5,497.0	5,346.0	5,196.0	5,296.0	5,190.0	5,059.0	5,219.0	6,000.0		
⑭	利用基準	%	96.1	96.9	98.4	99.7	99.8	99.6	99.8	99.7	99.5	99.8	99.2	99.9	100.0	99.1	98.9	98.4	99.2	98.2	97.3	97.5	97.7	97.3	97.5	98.7	98.3	99.0	98.5	92.4
⑮	⑭/⑬ 86.4 一日平均取水量	m ³ /s	58.14	58.72	57.67	57.88	57.66	56.72	56.28	55.70	56.63	57.75	58.65	58.39	59.81	58.44	57.97	57.56	56.26	55.59	55.59	55.19	55.38	54.85	54.35	52.52	53.36	60.67		
⑯	一日最大取水量 (I+II)	m ³ /s	71.59	74.77	70.23	70.60	71.22	70.11	71.36	67.38	66.53	67.49	73.32	70.58	73.30	70.92	70.82	69.43	68.83	67.74	66.55	64.41	61.65	64.15	61.90	59.47	61.48	74.90		
	I 指定水区分	m ³ /s	44.74	47.41	46.42	45.25	48.71	46.08	45.33	46.15	43.11	41.03	47.34	45.49	48.09	47.99	50.53	48.08	51.41	47.30	42.34	42.12	41.63	44.05	40.45	40.23	42.86	55.51		
	a. 水源地	m ³ /s	39.35	41.91	41.19	40.09	43.52	41.42	41.90	41.69	39.61	36.56	42.43	40.90	42.45	43.14	46.12	43.69	45.91	42.21	37.41	37.52	37.29	40.04	36.52	35.43	38.63	45.27		
	b. 自営	m ³ /s	5.39	5.61	5.23	5.17	5.19	4.67	4.40	4.47	4.50	4.90	4.69	5.64	4.85	4.51	4.39	5.50	5.08	4.93	4.60	4.35	4.01	3.80	4.23	5.91				
	c. 地下水	m ³ /s	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
	d. その他	m ³ /s	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
	II その他水区分	m ³ /s	26.85	27.35	23.81	25.34	22.62	24.03	25.03	21.22	23.42	26.46	25.99	25.09	26.20	22.53	20.19	21.35	17.42	20.44	24.21	22.25	20.00	20.10	21.45	18.23	18.63	18.40		

【簡易水道】		需要想定値															
項目	単位	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	備考				
① 給水人口	千人																
② 一人一日最大給水水量	L/人・日																
③ 利用基準	%																
④ 一日最大取水量 (I+II)	m ³ /s																
	I 指定水区分																
	II その他水区分																

【合計】		需要想定値		
項目	単位	H7	H16	備考
○ 一日最大取水量 (I+II)	m ³ /s	74.90		
	I 指定水区分	56.51		
	II その他水区分	18.40		

【記載要領】

- 本様式は、水資源開発基本計画需要想定エリア内の水道用水についての、需要想定値を記入する。地域的事業等により地区別に需給想定を行う必要がある場合には、「水道用水 1-1」 需要想定値 (地区別) に地区別の数値を記入した上で、合計値を記入する。
- 【上水道】の部分には、上水道の需要実績値及び需給想定値を記入する。
- 【簡易水道】の部分には、H7時点で簡易水道である事業を対象として、需要実績値及び別途予測した需給想定値を記入する。
- 【合計】の部分には、上水道及び簡易水道の一日最大取水量の需給想定値の合計値を記入する。

水道用水 1-1' 需要想定値 (地区別)

東京都 (利根川水系及び荒川水系) 調査地域 ()

【上水道】

需要想定値

項目	単位	S62	H16	H27	備考
① 行政区域内人口	千人				
② 上水道普及率	%				
③=①×② 上水道給水人口	千人				
④ 家庭用水有収水量原単位	L/人・日				
⑤=④×③ 家庭用水有収水量	千 ³ /日				
⑥ 都市活動用水有収水量	千 ³ /日				
⑦ 工場用水有収水量	千 ³ /日				
⑧=⑤+⑥+⑦ 一日平均有収水量	千 ³ /日				
⑨ 有収率	%				
⑩=⑧/⑨ 一日平均給水量	千 ³ /日				
⑪=⑩/③ 一人一日平均給水量	L/人・日				
⑫ 負荷率	%				
⑬=⑩/⑫ 一日最大給水量	千 ³ /日				
⑭ 利用量率	%				
⑮=⑩/⑭/86.4 一日平均取水量	m ³ /s				
⑯ 一日最大取水量 (I+II)	m ³ /s				
I 指定水系分	m ³ /s				
a. 水源開発分	m ³ /s				
b. 自湧	m ³ /s				
c. 地下水	m ³ /s				
d. その他	m ³ /s				
(浄水受水)	m ³ /s				
II その他水系分	m ³ /s				

【簡易水道】

需要想定値

項目	単位	-	H16	H27	備考
① 給水人口	千人	-			
② 一人一日最大給水量	%	-			
③ 利用量率	%	-			
④ 一日最大取水量 (I+II)	m ³ /s	-			
I 指定水系分	m ³ /s	-			
II その他水系分	m ³ /s	-			

【合計】

需要想定値

項目	単位	-	-	H27	備考
○ 一日最大取水量 (I+II)	m ³ /s	-	-		
I 指定水系分	m ³ /s	-	-		
II その他水系分	m ³ /s	-	-		

(記載要領)

- 本様式は、水資源開発基本計画需要想定エリア内の水道用水について、地区別の需要想定値を記入する。
その際には需要想定を行う地区を設定した根拠等を示すこと。
地区別の合計値がフルプランエリア計の値に一致するようにし、地区を特段明示する必要のない場合は「その他地区」とする。
水資源開発基本計画需要想定エリア内の需給想定を一括で行っている場合には記入は不要。
- 【上水道】の部分には、上水道の需要実績値及び需要想定値を記入する。
- 【簡易水道】の部分には、H27時点で簡易水道である事業を対象として、需要実績値及び別途予測した需要想定値を記入する。
- 【合計】の部分には、上水道及び簡易水道の一日最大取水量の需要想定値の合計値を記入する。

水道用水 1 - 2 需要想定値算出根拠

○貴県における水道用水需要想定値の算出根拠について御教示願います。

- 留意事項
- ・推計フローなど、需要手法の概略を示す。
 - ・需要想定を行う際に使用した実績値の区間を示す。
 - ・予測に用いた数値について根拠を示す（出典、設定方法等）。
 - ・簡易水道の予測方法、予測結果についても示す。
 - ・需要想定値の算出の基礎となる需要想定エリア（対象となる市町村名）を添付する。

算出根拠は別添資料のとおり

水道需要の予測方法

1. 予測手法

区部及び多摩28市町を対象として、昭和61年度からの用途別使用水量実績と、関連する社会・経済指標を用いて重回帰モデルを設定し、このモデルに指標の将来値をあてはめて用途別に将来の使用水量を求めた。さらに、これらの使用水量を合算し、予測有収率及び負荷率を用いて平成25年度の予測一日最大配水量を推計した。

2. 使用データ

- (1) 使用水量 昭和61年度から平成12年度までの実績値を使用した。
 (2) 人口 給水人口については、平成12年度までは実績値を用い、将来値については「東京構想2000」に示されている想定値を基に、近年の実績を踏まえて設定した。
 (3) 経済指標 平成12年度までは実績値を用い、将来値については「東京構想2000」に示されている指標等をもとに設定した。
 (4) 有収率 予測有収率は、過去の実績を基に想定される漏水防止効果を勘案して94%に設定した。
 (5) 負荷率 予測負荷率は、過去の実績値等を勘案して81%に設定した。

3. 予測結果

(単位：千m³/日、%)

年度		12(2000) (実績)	17(2005)	22(2010)	25(2013)	27(2015)
項目						
一日最大配水量		5,198	5,900 [5,900]	6,000 [5,995]	6,000 [6,023]	6,000 [6,044]
一日平均配水量		4,722	4,779	4,856	4,879	4,896
一日平均使用水量		4,276	4,483	4,565	4,586	4,602
用途別	生活用	2,979	3,187	3,290	3,323	3,346
	都市活動用	1,211	1,217	1,201	1,192	1,187
	工場用	86	79	74	71	69
参考	有収率	90.5	93.8	94.0	94.0	94.0
	負荷率	90.9	81.0	81.0	81.0	81.0

(参考値) (参考値) (参考値)

- (注) 1. 本表に示す将来水需要は、上記前提に基づく推計値である。
 2. 「東京構想2000」では、人口及び経済の指標について、平成27年度まで示されている。
 3. []内は、一日最大配水量(公表値)の基となった数値である。(参考値)
 4. 平成17、22、27年度は参考値であり、公表していない。

○ 水道用水の需要想定に用いた数値の根拠

- ・ 予測に用いた期間 : 昭和61年度～平成12年度
- ・ 給水人口 : 「東京構想2000」の人口想定を基に、近年の実績を考慮した上で、給水人口の将来値を求めた。
- ・ 生活用水原単位 : 個人所得、平均世帯人員を説明変数とする以下の予測式により求めた。
$$Y = \text{Exp}(a) \cdot X_1^b \cdot X_2^c$$

Y : 生活用水原単位
X₁ : 個人所得、X₂ : 平均世帯人員
a = 4.14034、b = 0.242654、c = -0.571423
- ・ 個人所得 : 昭和61年度～平成12年度における、都内経済成長率の平均増加率と、個人所得の平均増加率の関係から、「東京構想2000」の都内経済成長率の想定を基に、個人所得の将来値を求めた。
出典) 東京都「市町村税課税状況等の調」
- ・ 平均世帯人員 : 「東京構想2000」の人口、世帯数の想定を基に、近年の実績を考慮した上で、平均世帯人員の将来値を求めた。
出典) 総務庁「国勢調査」、東京都「東京都の人口(推計)」
- ・ 生活用水使用水量① : 生活用水原単位×給水人口
- ・ 都市活動用水使用水量② : 年間商品販売額、サービス業総生産、年次を説明変数とする以下の予測式により求めた。
$$Y = \text{Exp}(a) \cdot X_1^b \cdot X_2^c \cdot X_3^d$$

Y : 都市活動用水使用水量
X₁ : 年間商品販売額、X₂ : サービス業総生産、X₃ : 年次(86年=86)
a = 11.7166、b = 0.315584、c = 0.134784、d = -0.619029
- ・ 年間商品販売額 : 昭和61年度～平成12年度における、都内経済成長率の平均増加率と、年間商品販売額の平均増加率の関係から、「東京構想2000」の都内経済成長率の想定を基に、年間商品販売額の将来値を求めた。
出典) 東京都「商業統計調査報告」
- ・ サービス業総生産 : 昭和61年度～平成12年度における、都内経済成長率の平均増加率と、サービス業総生産の平均増加率の関係から、「東京構想2000」の都内経済成長率の想定を基に、サービス業総生産の将来値を求めた。
出典) 東京都「都民経済計算年報」
- ・ 工場用水使用水量③ : 第二次産業従業者数、年次を説明変数とする以下の予測式により求めた。
$$Y = \text{Exp}(a) \cdot X_1^b \cdot X_2^c$$

Y : 工場用水使用水量
X₁ : 第二次産業従業者数、X₂ : 年次(86年=86)
a = -1.45228、b = 1.03340、c = -0.430337
- ・ 第二次産業従業者数 : 「東京構想2000」の就業者数の想定を基に、第二次産業従業者数の将来値を求めた。
出典) 東京都「事業所・企業統計調査報告」

- 一日平均使用水量 ④ : $①+②+③$
- 有収率 ⑤ : 昭和61年度から平成12年度までの実績に基づき、今後の漏水防止対策による漏水率の改善を考慮し、有収率を設定した。
- 一日平均配水量 ⑥ : $④/⑤ \times 100$
- 負荷率 ⑦ : 昭和61年度から平成12年度までの実績に基づき、その間の最低値により負荷率を設定した。
- 一日最大配水量 ⑧ : $⑥/⑦ \times 100$

(参考) 水需要予測のモデル式 (案)

指数表示

- ① 生活用水：生活用水原単位について予測モデル式を構築

$$(\text{原単位}) = \text{Exp}(4.14034) \times (\text{個人所得})^{0.242654} \times (\text{平均世帯人員})^{-0.571423}$$

$$(\text{使用水量}) = (\text{原単位}) \times (\text{給水人口})$$

- ② 都市活動用水：都市活動用水全体について予測モデル式を構築

$$(\text{使用水量}) = \text{Exp}(11.7166) \times (\text{年間商品販売額})^{0.315584} \times (\text{サービス業総生産})^{0.134784} \times (\text{年次})^{-0.619029}$$

- ③ 工場用水：工場用水全体について予測モデル式を構築

$$(\text{使用水量}) = \text{Exp}(-1.45228) \times (\text{第二次産業従業者数})^{1.03340} \times (\text{年次})^{-0.430337}$$

対数表示

- ① 生活用水：生活用水原単位について予測モデル式を構築

$$\ln(\text{原単位}) = 4.14034 + 0.242654 \ln(\text{個人所得}) - 0.571423 \ln(\text{平均世帯人員})$$

$$(\text{使用水量}) = (\text{原単位}) \times (\text{給水人口})$$

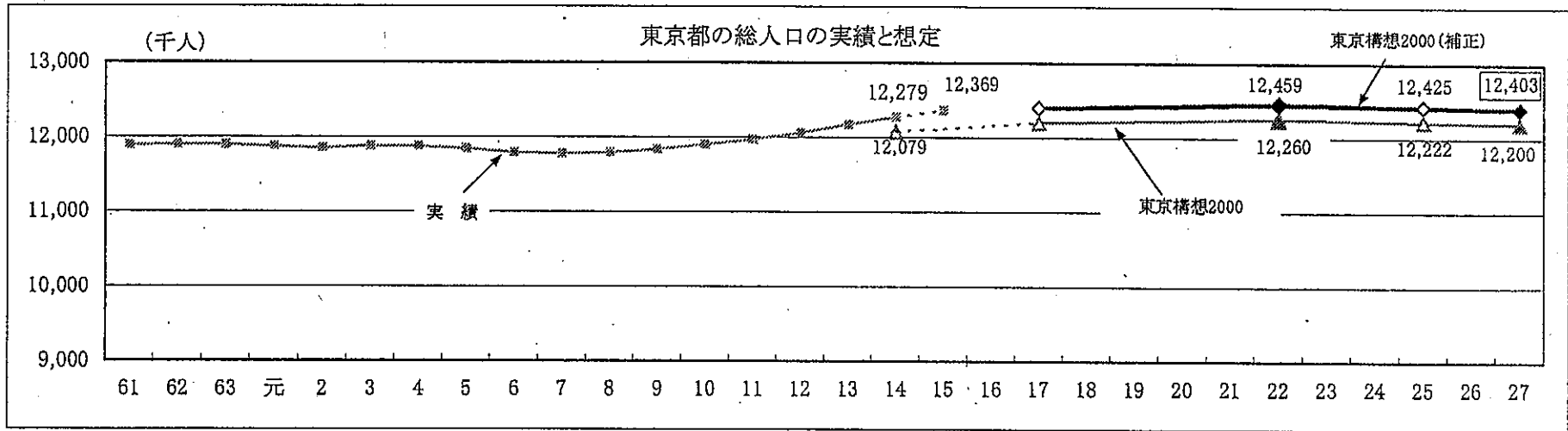
- ② 都市活動用水：都市活動用水全体について予測モデル式を構築

$$\ln(\text{使用水量}) = 11.7166 + 0.315584 \ln(\text{年間商品販売額}) + 0.134784 \ln(\text{サービス業総生産}) - 0.619029 \ln(\text{年次})$$

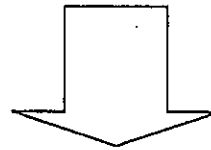
- ③ 工場用水：工場用水全体について予測モデル式を構築

$$\ln(\text{使用水量}) = -1.45228 + 1.03340 \ln(\text{第二次産業従業者数}) - 0.430337 \ln(\text{年次})$$

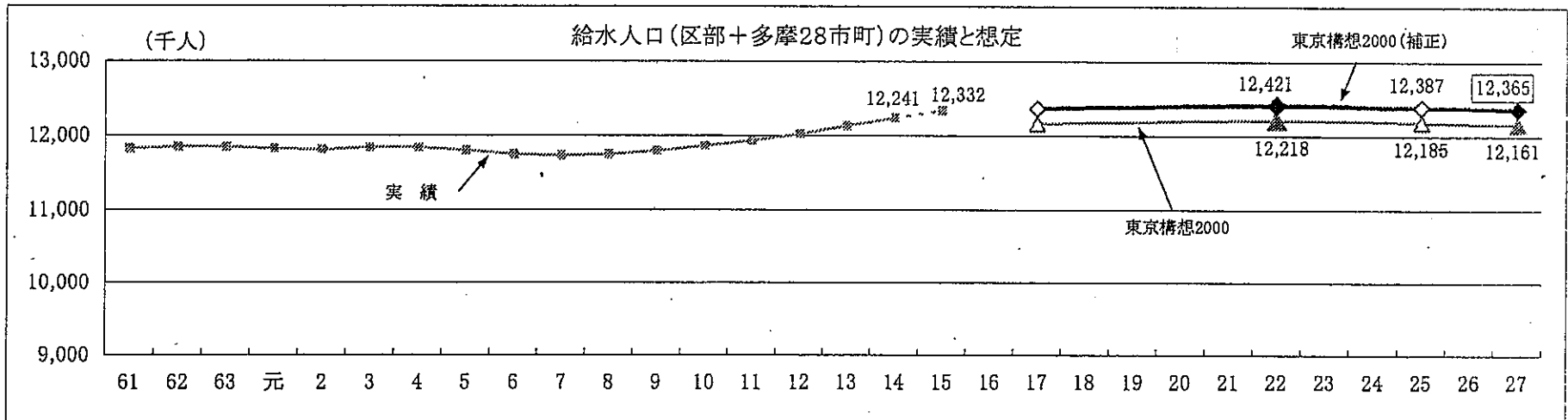
給水人口の想定と補正について



奥多摩、檜原、島しょ部を除く



【人口補正の考え方】
 最近の人口実績が一貫して増加傾向で推移していることを踏まえ、「東京構想2000」で示された人口想定値について、平成14年の想定値と実績値を比較し、その時点での想定値に対する実績値の伸び率（約1.7%）を用いて、平成17年度以降の想定値を補正した。



水道用水 1 - 3 需要想定値 (大規模開発等要因分)

東京都 (利根川水系及び荒川水系)

調査地域 (次期水資源開発基本計画需要想定エリア計)

開発計画名等	人口(人)	水量(m ³ /日)	需要発生時期	開発完了時期	計画概要	進捗度	備考
合計			—	—	—	—	—

(記載要領)

1. 需要想定に関して、大規模な新規開発 (住宅団地) 等を見込んでいる場合には、その内訳について記入する。
2. 水量は有収水量 (日平均ベース) で記載する。給水量等で求めている場合には、その旨を備考欄に記入する。
3. 計画概要には、面積等水量算定の基礎となる諸元を記載する。
4. 進捗度には、「事業中」、「調査中」、「構想段階」等事業の進捗状況について記入する。

水道用水 2-1 供給想定値 (エリア合計)

東京都 (利根川水系及び荒川水系)
調査地域 (次期水資源開発基本計画需要想定エリア計)

(最大取水量ベース)		【上水道】		【簡易水道】		【合計】
項目	単位	H17	H27	H17	H27	H27
①水資源開発施設分	m ³ /s	54.613	54.613			54.613
完成済	m ³ /s	47.133	54.613			54.613
完成予定	m ³ /s	7.480	0.000			0.000
水源未定	m ³ /s	0.000	0.000			0.000
②自流	m ³ /s	5.9052	5.9052			5.9052
③地下水	m ³ /s	0.000	0.000			0.000
④その他	m ³ /s	5.330	5.330			5.330
指定水系内計	m ³ /s	65.8482	65.8482			65.8482
その他水系	m ³ /s	18.396	18.396			18.396

(記載要領)

- 本様式は、水資源開発基本計画需要想定エリア内の水道事業及び水道用水供給事業について供給想定値を最大取水量ベースで記入する。
水資源開発施設については指定水系内の施設の開発水量の合計を、自流、地下水、その他については平成27年度における取水予定量を記入する。
地域の事情等により地区別に需給想定を行う必要がある場合には、「水道用水 2-1 供給想定値 (地区別)」に地区別の数値を記入した上で、合計値を記入する。
- 【上水道】の部分には、「水道用水 1-1 需要想定値」において別途予測した上水道の需要実績値及び需要想定値に対する供給想定値を記入する。
- 【簡易水道】の部分には、「水道用水 1-1 需要想定値」において別途予測した簡易水道の需要実績値及び需要想定値に対する供給想定値を記入する。
- 【合計】の部分には、上水道及び簡易水道の供給想定値の合計値を記入する。
- 完成済には、平成17年度末までに完成した指定水系内の水資源開発施設による手当済水量を記入する。
- 完成予定には、平成17年度末までに完成していないが、平成27年度までに完成する指定水系内の水資源開発施設により、手当てが見込まれる水量を記入する。
- 水源未定には、5. 6. 以外の水量を記入する。

水道用水 2-1' 供給想定値 (地区別)

東京都 (利根川水系及び荒川水系)
調査地域 ()

(最大取水量ベース)		【上水道】		【簡易水道】		【合計】
項目	単位	H17	H27	H17	H27	H27
①水資源開発施設分	m ³ /s					
完成済	m ³ /s					
完成予定	m ³ /s					
水源未定	m ³ /s					
②自流	m ³ /s					
③地下水	m ³ /s					
④その他	m ³ /s					
指定水系内計	m ³ /s					
その他水系	m ³ /s					

(記載要領)

- 本様式は、水資源開発基本計画需要想定エリア内の水道事業及び水道用水供給事業について供給想定値を最大取水量ベースで記入する。
水資源開発施設については指定水系内の施設の開発水量の合計を、自流、地下水、その他については平成27年度における取水予定量を記入する。
水資源開発基本計画需要想定エリア内の需給想定を一括で行っている場合には記入は不要。
- 【上水道】の部分には、「水道用水 1-1' 需要想定値」において別途予測した上水道の需要実績値及び需要想定値に対する供給想定値を記入する。
- 【簡易水道】の部分には、「水道用水 1-1' 需要想定値」において別途予測した簡易水道の需要実績値及び需要想定値に対する供給想定値を記入する。
- 【合計】の部分には、上水道及び簡易水道の供給想定値の合計値を記入する。
- 完成済には、平成17年度末までに完成した指定水系内の水資源開発施設による手当済水量を記入する。
- 完成予定には、平成17年度末までに完成していないが、平成27年度までに完成する指定水系内の水資源開発施設により、手当てが見込まれる水量を記入する。
- 水源未定には、5. 6. 以外の水量を記入する。

水道用水 2 - 2 供給想定水源内訳の設定根拠

(1) 上水道

	開発水量等	同 左 供給実力 (近年 2/20)	H27需要想定	備考 (開発水量等内訳)
指定水系内 水資源開発施設分	54.613	46.310	45.271	利根川河口堰14.01 北千葉導水路2.79 霞ヶ浦開発1.5 草木5.68 奈良俣2.07 渡良瀬遊水池0.505 矢木沢4 下久保12.6 埼玉合口二期0.559 荒川調節池1.4 補山1.17 利根中央0.849 滝沢0.86 ハッ場5.22 霞ヶ浦導水1.4
自流	5.9052	4.640	5.9052	江戸川水利統制5.9052
地下水	0.000	0.000	0.000	
その他	5.330	4.190	5.330	中江戸緊急暫定5.33
その他水系	18.396	18.396	18.396	小河内(自流)13.2 砦2.36 杉並0.174 相模分水2.662
合 計	84.244	73.536	74.902	

(2) 簡易水道

	開発水量等	同 左 供給実力 (近年 2/20)	H27需要想定	備考 (開発水量等内訳)
指定水系内 水資源開発施設分				
自流				
地下水				
その他				
その他水系				
合 計				

(参考) 近年 2/20 渇水年における供給可能水量

水資源開発施設名	開発水量(水道)	供給可能水量 (平成27年度)
利根川河口堰	14.010	14.010
北千葉導水路	2.790	2.190
霞ヶ浦開発	1.500	1.500
草木ダム	5.680	4.460
奈良俣ダム	2.070	1.630
渡良瀬遊水池	0.505	0.400
矢木沢ダム	4.000	3.140
下久保ダム	12.600	9.900
埼玉合口二期	0.559	0.440
荒川調節池	1.400	1.010
補山ダム	1.170	0.840
利根中央	0.849	0.670
滝沢ダム	0.860	0.620
ハッ場ダム	5.220	4.100
霞ヶ浦導水	1.400	1.400
中江戸緊急暫定	5.330	4.190
江戸川水利統制	5.905	4.640

※関東地方整備局提示資料より算出。

(記載要領)

1. 水道用水供給想定における水源別内訳の想定根拠を記入する。

水道用水 2-3 水資源開発施設別開発水量

東京都 (利根川水系及び荒川水系)

調査地域 (次期水資源開発基本計画需要想定エリア内)

(最大取水量ベース)

	水資源開発施設名	事業主体名 (水資源開発施設)	完成年度 <予定>	事業名及び事業主体名 (水道事業・水道用水供給事業)	開発水量 (m ³ /s)	備考
指定 水系 内	利根川河口堰	水資源機構	昭和46 年度	東京都	14.010	
	北千葉導水路	国土交通省	平成11 年度	東京都	2.790	
	霞ヶ浦開発	水資源機構	平成7 年度	東京都	1.500	
	草木ダム	水資源機構	昭和51 年度	東京都	5.680	
	奈良俣ダム	水資源機構	平成2 年度	東京都	2.070	
	渡良瀬遊水池	国土交通省	平成1 年度	東京都	0.505	
	矢木沢ダム	水資源機構	昭和42 年度	東京都	4.000	
	下久保ダム	水資源機構	昭和43 年度	東京都	12.600	
	埼玉合口二期	水資源機構	平成6 年度	東京都	0.559	
	荒川調節池	国土交通省	平成8 年度	東京都	1.400	
	浦山ダム	水資源機構	平成10 年度	東京都	1.170	
	利根中央用水	水資源機構	平成13 年度	東京都	0.849	
	利根中央土地改良	農林水産省	平成15 年度	東京都		
	滝沢ダム	水資源機構	平成19 年度	東京都	0.860	
	八ッ場ダム	国土交通省	平成22 年度	東京都	5.220	
	霞ヶ浦導水	国土交通省	平成22 年度	東京都	1.400	
	中川・江戸川緊急暫定	東京都・千葉県	昭和39 年度	東京都	5.330	
			年度			
その 他 水系	小河内ダム	東京都	昭和32 年度	東京都	13.200	自流含む
			年度			
			年度			
			年度			
			年度			

(記載要領)

1. 本様式は、水資源開発基本計画需要想定エリア内において実施された、または実施される予定の事業毎に、水道事業及び水道用水供給事業、開発水量を記入する。

水道用水3 総括票 (水需給)

平成27年度

東京都 (利根川水系及び荒川水系)

調査地域 (水資源開発基本計画需要想定エリア計)

(最大取水基準、単位: m³/s)

地区名	需要想定			供給想定 (指定水系内)								供給想定 (その他 水系) ⑫	備考	
	一日最大 取水量 ①	その他水系 一日最大取 水量 ②	指定水系内 一日最大取 水量 ③	水資源開発施設分				自派 ⑧	地下水 ⑨	その他 ⑩	合計 ⑪=④+⑧ +⑨+⑩			
				合計 ④=	完成済 ⑤	完成予定 ⑥	水源未定 ⑦							
上水道														
水資源開発基本計画 需要想定エリア合計 (参考)	74.902	18.396	56.506	46.310	46.310	0.000	0.000	4.640	0.000	4.190	55.140	18.396	2/20濁水年における水需給計画	
水資源開発基本計画 需要想定エリア合計	74.902	18.396	56.506	54.613	54.613	0.000	0.000	5.9052	0.000	5.330	65.8482	18.396	開発水量 (計画基準年) における 水需給計画	
簡易水道														
水資源開発基本計画 需要想定エリア合計 (参考)													2/20濁水年における水需給計画	
水資源開発基本計画 需要想定エリア合計													開発水量 (計画基準年) における 水需給計画	
計 (上水道+簡易水道)														
水資源開発基本計画 需要想定エリア合計 (参考)	74.902	18.396	56.506	46.310	46.310	0.000	0.000	4.640	0.000	4.190	55.140	18.396	2/20濁水年における水需給計画	
水資源開発基本計画 需要想定エリア合計	74.902	18.396	56.506	54.613	54.613	0.000	0.000	5.9052	0.000	5.330	65.8482	18.396	開発水量 (計画基準年) における 水需給計画	

(記載要領)

- 本様式は、水道用水1-1及び水道用水2-1をもとに記入する。ここで、地区別に需要予測、供給予測を行っている場合には、水資源開発基本計画需要想定エリア内合計の下の欄に地区名及び地区別の数値を記入する。
- ①～③には、「水道用水1-1 需要想定値」において一日最大取水量の欄 (【合計】の部分の数値) に記載した水量を記入する。
- ④～⑫には、「水道用水2-1 供給想定値」において記載した水量 (【合計】の部分の数値) を記入する。

資料提供について

国土交通省土地・水資源局から平成 14 年 3 月 1 日付国水計第 4 号、「利根川水系及び荒川水系における水資源開発基本計画需給想定調査について（依頼）」の回答資料（一部）

国水計第4号
平成14年3月1日

東京都都市計画局総合計画部長 殿

国土交通省土地・水資源局
水資源部水資源計画課長



利根川水系及び荒川水系における水資源開発基本計画需給想定調査について (依頼)

標記水系における水資源開発基本計画の変更にあたり基礎的な調査として、別添の調査票により需給想定調査を行いたく、御回報方よろしく願います。

